

令和6年度

仙台理容美容専門学校
学校関係者評価報告書

学校関係者評価委員会

総 評 （令和6年度）

(1) 教育理念・目的・人材育成像

- ・学校の教育理念、目的、人材育成像は、仙台理容美容専門学校の歴史が示す通り、業界からも一番の評価を得ているところであるので、今後も学生・保護者への周知徹底を願う。

(2) 学校運営

- ・教務と事務との連携、及び理容科・美容科相互の情報共有等がなされている。
- ・校務分掌に従って職務が遂行され、職員相互の連携がとれている。

(3) 教育活動

- ・業界との連携（情報交換）を密に行い、今後の業界の流れを把握しながら、教育の現場にいかにか落とし込んでいくかが重要。
- ・新型コロナウイルス感染症下の中で、職員に関連する研修も実施され受講できたことは良かった。
- ・理・美容師資格試験については、昨年に続き全員合格とはならなかったのは残念だったが、高い合格率を維持できたことは評価できる。

(4) 学修成果

- ・就職率、資格取得率共に良好である。理・美容師資格試験について、惜しくも合格率100%とはならなかったが、高い合格率を維持できたことは良かった。

(5) 学生支援

- ・昨年に引き続き、就職支援の一環として、就職ガイダンス（宮城県内・東京関東方面）の実施は、学生にとって大変有意義だったと思われる。
- ・課外活動に対する支援や学校独自の奨学制度等の支援活動は十分行われている。

(6) 教育環境

- ・設備・機材については、計画的に点検やメンテナンスをして丁寧に使っている。
- ・校内施設の環境維持のための年次計画については、計画通り実行されている。
- ・理容・美容業界で活躍している方の講演会を実施したことは、学生にとって非常に有意義であった。

(7) 学生の受け入れ募集

- ・少子化や新型コロナウイルス感染症の影響で進学ガイダンスやオープンキャンパス参加者等が減少しているため学生募集に苦慮されているが、独自の奨学金制度を設けたことで、昨年度並みの入学者が確保できている。

(8) 財務

- ・入学者が減少したため、今後さらに力を入れて学生募集活動をすることが大事。
- ・運営資金の効率のいい運用の仕方と支出については物価の高騰も大きいため、極力支出を抑える努力が随所に必要。

(9) 法令等の遵守

- ・法令等の遵守の徹底、個人情報の保護と漏えい防止対策がとられている。
- ・自己評価の公開がされている。

(10) 社会貢献・地域貢献

- ・文化祭に地域住民の方を招待し、大変好評を得たことが評価に値する。
- ・学生による地域の清掃活動は、今後も継続して実施してもらいたい。